

(□については、レ印を付したもの)

調停事項の価額 _____ 円

ちょう用印紙額 _____ 円

予納郵便切手額 _____ 円

受 付 印

調 停 申 立 書

東 京 簡 易 裁 判 所 御 中

令和 年 月 日

申立人の住所・氏名・電話番号等

郵便番号 〒 —

住 所

氏 名 _____ 印

送達場所 上記住所地 次のとおり

電 話 — —

ファクシミリ — —

相手方の住所・氏名

郵便番号 〒 —

住 所

氏 名 _____

別紙のとおり当事者複数あり

調停：不法行為(交通事故の人損・物損) 1

(□については、レ印を付したもの)

申立の趣旨

相手方は、申立人に対し、金 円

□ 及びこれに対する□令和 □平成 年 月 日から支払済みまで

年 パーセントの割合による金員

を支払うこと。

との調停を求める。

紛争の要点

1 申立人は、以下の交通事故により負傷し、かつ物件損害を受けた。

(1) 事故発生日時 □令和 □平成 年 月 日午 時 分頃

(2) 発生場所

(3) 申立人側車両(□申立人は歩行者)

種類

登録番号

所有者

(4) 申立人側車両の運転者(□申立人は同乗者)

氏名

(5) 前記運転者と申立人との関係

調停：不法行為(交通事故の人損・物損)2

(6) 相手方側車両

種類

登録番号

(7) 相手方側車両の運転者

氏名

(8) 前記運転者と相手方との関係

(9) 事故の態様と結果(事故現場の略図は別紙「事故発生状況説明図」のとおり)

2 前記事故によって、申立人は、以下の損害を受けた。

(1) 負傷による損害 合計金 円

ア 財産的損害 金 円

(内訳)

・ 金 円

・ 金 円

・ 金 円

イ 精神的損害 金 円

(2) 物件損害 合計金 円

(内訳)

・ 金 円

・ 金 円

・ 金 円

3 前記損害に対する相手方の支払の状況は以下のとおりである。

全く支払がない。

令和 平成 年 月 日までに合計金 円支払済み

4 相手方は、申立人に対し、以下の事由により前記損害を賠償する責任がある。

5 そこで、申立人は相手方に対し、申立の趣旨記載の金員の支払を求める。

当事者の表示(追加用)

(□については、レ印を付したもの)

(注)この用紙は、申立人又は相手方が複数いる場合に使用する。

当事者が申立人である場合は、送達場所、電話及びファクシミリ欄にも記入すること

当事者 <input type="checkbox"/> 申立人 <input type="checkbox"/> 相手方	
郵便番号	〒 _____
住所	_____
氏名	_____ 印
送達場所	<input type="checkbox"/> 上記住所地 <input type="checkbox"/> 次のとおり
電話	_____
ファクシミリ	_____
当事者 <input type="checkbox"/> 申立人 <input type="checkbox"/> 相手方	
郵便番号	〒 _____
住所	_____
氏名	_____ 印
送達場所	<input type="checkbox"/> 上記住所地 <input type="checkbox"/> 次のとおり
電話	_____
ファクシミリ	_____
当事者 <input type="checkbox"/> 申立人 <input type="checkbox"/> 相手方	
郵便番号	〒 _____
住所	_____
氏名	_____ 印
送達場所	<input type="checkbox"/> 上記住所地 <input type="checkbox"/> 次のとおり
電話	_____
ファクシミリ	_____